

High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い

統合開発環境High-performance Embedded Workshopの使用上の注意事項を連絡します。

- Import Makefile機能についての注意事項

1. 該当製品

- (1) M32Rファミリ用Cコンパイラパッケージ
M3T-CC32R V.4.20 Release 1
- (2) M32C/80, M16C/80, およびM16C/70シリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC308WA V.5.20 Release 1
- (3) M16C/60, M16C/30, M16C/Tiny, M16C/20, M16C/10,
およびR8C/Tinyシリーズ用Cコンパイラパッケージ
M3T-NC30WA V.5.20 Release 1 および V.5.30 Release 1
- (4) R8C/Tinyシリーズ用Cコンパイラパッケージ (専用無償評価版)
M3T-NC30WA V.5.20 Release 1 (*)
M3T-NC8C V.5.30 Release 1

* 2004年4月1日から、製品名をM3T-NC30WAからM3T-NC8Cに変更しています。

2. 内容

以下の手順で既存のメイクファイルを読み込み、プロジェクトを作成すると、一部のオプション情報が正常に読み込めません。

- (1) 新規プロジェクトワークスペースダイアログボックスで、リストからImport makefileを選択し、OKボタンをクリックする。

(New Project-1/4-Import Makefileウィザードが開く。)

(2) Import optionsをチェックして、OKボタンをクリックする。

3. 回避策

New Project-1/4-Import Makefileウィザードで、Import optionsをチェックしないでください。オプションはプロジェクト作成後に、メニューバーのオプションメニュー→"Renesas Mxxx(*) Standard Toolchain"を選択して開く Renesas Mxxx(*) Standard Toolchain ダイアログボックスで設定してください。

* Mxxxには、ご使用のツールチェーンのファミリ名がはいります。

4. 恒久対策

各Cコンパイラパッケージの次期バージョンアップの際に、本内容を改修したHigh-performance Embedded Workshopを同梱する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。